

2020. 8. 20

一般財団法人山形陸上競技協会

(8. 22 別表に追記)

■県選手権で使用できる「競技用靴」について（お知らせ）

競技会（2020年度の山形県陸上競技選手権大会）では「2020年度日本陸上競技連盟競技規則」を適用しますが、WA（World Athletics、ワールドアスレティックス、世界陸連）から2020年7月28日に出され即日発効した新しいシューズのルール、及び日本陸連から2020年8月15日に出された「WA規則第143条（TR5＝テクニカルルール第5条：シューズ）のルール再改定について（通知）」に従い、改訂されたルールを適用します。

したがって、800m以上のトラック種目（競歩種目を除く）では、使用できる靴底の厚さの上限は25mmですので、靴底の厚さの上限が40mmのシューズ（2020年度当初の競技規則で使用可能であったいわゆる「厚底シューズ」）は、使用することができません。

ただし、トラックで実施される競歩だけはロードのルールを適用します（トラック種目で競歩だけは40mmの厚底シューズの使用が可能です）。

なお、ほかの種目の靴底の厚さについても、別表のとおり、新しいシューズのルールが適用されます。

（参考）

2020年8月15日付け日本陸上競技連盟「WA規則第143条（TR5＝テクニカルルール第5条：シューズ）のルール再改定について（通知）」

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13959/>

(8月21日付けで日本陸連において表への追記あり)

種目	ソールの最大の厚さ (TR5.5、注意(i), (ii), (iii) 及び、TR5.5 の図 (a) 並びに (b) TR5.13.3 に基づく)	補足
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
800m 未満のトラック種目 (含むハードル)	20mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。競歩種目ではロード種目と同様とする。
クロスカントリー	25mm	
ロード種目 (含む競歩)	40mm	
TR57 の種目 (マウンテン・トレイル)	規定なし。	

TR5.13 注意

(i) 規則 143 条(TR5)13(a)の「1 つの剛性プレートまたはブレード」は、複数のパーツで構成される場合があるが、それらのパーツは、平行ではなく(例:個々のパーツは互いに上に積み重ねない)、1 つの平面に連続して配置しなければならない。※現行のルールブックに掲載の内容と変更なし。

(ii) フィールド種目のシューズの厚さについては、現在、これまでの規則に合致したシューズを使用している競技者を救済するため 12 月 1 日以降からの適用とする。リザルトへの「規定外」の注記は不要とである。(WA ルールに記載の内容を追記)

以上